

令和 8 年 3 月

医療関係者各位

株式会社陽進堂

「使用上の注意」改訂のお知らせ

抗精神病剤

ブロナンセリン錠 2mg 「YD」  
 ブロナンセリン錠 4mg 「YD」  
 ブロナンセリン錠 8mg 「YD」  
 (ブロナンセリン錠)

今般、令和 8 年 3 月 17 日付 厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、お知らせ申し上げます。(下線部分が変更箇所です。)

ご使用に際しましては、下記改訂内容をご参照賜りますようお願い申し上げます。

記

〈改訂内容〉

改訂後			改訂前		
2.禁忌 (次の患者には投与しないこと) 2.1~2.3 変更なし 2.4 イトラコナゾール、ポリコナゾール、ミコナゾール (経口剤、口腔用剤、注射剤)、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボサコナゾール、リトナビルを含む製剤、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンブレナビル、エンシトレルビル、コビシスタットを含む製剤、ロナファルニブ、 <u>セリチニブ</u> を投与中の患者 [10.1 参照] 2.5 変更なし			2.禁忌 (次の患者には投与しないこと) 2.1~2.3 省略 2.4 イトラコナゾール、ポリコナゾール、ミコナゾール (経口剤、口腔用剤、注射剤)、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボサコナゾール、リトナビルを含む製剤、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンブレナビル、エンシトレルビル、コビシスタットを含む製剤、ロナファルニブを投与中の患者 [10.1 参照] 2.5 省略		
10. 相互作用 変更なし 10.1 併用禁忌 (併用しないこと)			10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
変更なし			省略		
CYP3A4 を強く阻害する薬剤 イトラコナゾール (イトリゾール) ポリコナゾール (ブイフェンド) ミコナゾール (経口剤、口腔用剤、注射剤) (フロリド、オラビ) フルコナゾール (ジフルカン) ホスフルコナゾール (プロジフ) ボサコナゾール (ノクサフィル)	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤の主要代謝酵素である CYP3A4 を阻害するため、経口クリアランスが減少する可能性がある。外国において、ケトコナゾール (経口剤:国内未発売) との併用により本剤の AUC が 17 倍、C <sub>max</sub> が 13 倍に増加したとの報告がある。	CYP3A4 を強く阻害する薬剤 イトラコナゾール (イトリゾール) ポリコナゾール (ブイフェンド) ミコナゾール (経口剤、口腔用剤、注射剤) (フロリド、オラビ) フルコナゾール (ジフルカン) ホスフルコナゾール (プロジフ) ボサコナゾール (ノクサフィル)	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤の主要代謝酵素である CYP3A4 を阻害するため、経口クリアランスが減少する可能性がある。外国において、ケトコナゾール (経口剤:国内未発売) との併用により本剤の AUC が 17 倍、C <sub>max</sub> が 13 倍に増加したとの報告がある。

改訂後		改訂前	
リトナビルを含む製剤（ノービア、カレトラ、パキロビッド） ダルナビル（プリジスタ） アタザナビル（レイアタツ） ホスアンプレナビル（レクシヴァ） エンシトレルビル（ゾコーバ） コビシスタットを含む製剤（ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツェザ） ロナファルニブ（ゾキンヴィ） セリチニブ（ジカディア） [2.4、16.7.3 参照]		リトナビルを含む製剤（ノービア、カレトラ、パキロビッド） ダルナビル（プリジスタ） アタザナビル（レイアタツ） ホスアンプレナビル（レクシヴァ） エンシトレルビル（ゾコーバ） コビシスタットを含む製剤（ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツェザ） ロナファルニブ（ゾキンヴィ） [2.4、16.7.3 参照]	
10.2 併用注意（併用に注意すること） 変更なし		10.2 併用注意（併用に注意すること） 省略	

〈改訂理由〉

- 厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知（令和 8 年 3 月 17 日付）に基づく「2.禁忌」及び「10.1 併用禁忌（併用しないこと）」への追記  
 セリチニブと CYP3A 基質薬剤の併用時における薬物動態学的な影響が評価された結果、セリチニブの強い CYP3A 阻害作用により CYP3A 基質薬剤である本剤の曝露量が増加し、副作用の発現が増強するおそれがあることから、使用上の注意を改訂することが適切と判断されました。

- DSU No.344(2026 年 4 月発行)掲載予定
- 最新の電子添文につきましては、以下ホームページをご参照ください。  
 陽進堂ホームページの医療関係者様向けサイト(<https://www.yoshindo.co.jp/>)  
 医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)
- 専用アプリ「添文ナビ」を用いて GS1 バーコードを読み取ることで、電子添文を確認頂くこともできます。

プロナンセリン錠「YD」のGS1バーコード 

お問い合わせは、担当 MR 又は弊社医薬営業部門までご連絡ください。  
 (株)陽進堂 医薬営業部門 ☎ 0120-647-734

以上